

平成 28 年度の学校評価アンケートの結果をうけて

学校評価アンケートの実施につきましては、各方面のご関係の方々に、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。アンケートの結果から、課題につきまして今後、以下のような改善のための対策を取ってまいります。

○建学の精神の理解・浸透

より建学の精神に即した学校教育目標・育てたい生徒像・学力観・6年間の教育計画になるように、プロジェクトチームを立ち上げ見直しを図ります。また、課題について整理をして教職員一丸となって教育実践にあたります。

○学力・体力の成長の把握

各種検査（全国学力検査・心理検査・体力測定検査など）を実施し、客観的指標をもとに改善の方策の検討、実行を行います。

○教員の研修環境の整備

生徒の学習意欲を高めるために校内研修を通して、主体的・協働的な授業の手法を学び、授業研究会を開き、教員の授業実践力の向上を図ります。また、外部の研究会などに積極的に参加し、教員の資質と指導力の向上を図ります。

○保健管理の充実

生徒が相談しやすいような雰囲気大切に、定期的に教育相談を実施します。また、教職員が日常において生徒からの相談に対応ができるような環境を整えます。生徒の精神的な安定を図るために、カウンセラーと連携します。

○生徒指導

適切で組織的な生徒指導ができるように、生徒指導委員会を設け指導の方策を打ち出します。生徒の心身の成長を促進するために、寮と学校の情報の共有の時間を設け、日々の連携を強化します。また、自労自治の力が育つように生徒会の話し合い活動の充実化を図ります。

○進路指導

進路指導の体制を充実させ、教育制度の改革や国際化を見すえた進路指導の実践を行います。ボランティア活動について外部講師を招へいし、講和を通して社会や地域に貢献する態度を育てます。仕事についてより深く学ぶために、職場体験の日数を4日に増やして実施します。進路調査を実施し、個別の進路指導を引き続き実施します。学習指導の個別面接を実施して、学習の実践力を育てます。

○特別支援教育

研修会を持ち、特別支援教育についての教職員の理解を深めます。個別の指導計画を立て、ケース会議を持ち組織的に支援ができるように情報を共通し連携を図ります。

○保護者とのコミュニケーション

学校便り・学年便りなどを定期的に発行して、学校の様子についてお知らせいたします。また、生徒のより良き成長のために担任からの家庭などへの連絡を日常的に実施し連携を図ります。